

平成 26 年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

【めざす学校像】

文武に偏りのない、地域と共に歩む、“骨太の人格”を備えた人材を輩出する学校

・・・骨太：何にでも果敢に挑戦する、そして少々のことではへこたれない、という意味。

「勉強を頑張る」「学校行事も頑張る」「部活動も頑張る」、何事にも真剣に取り組み、社会に貢献できる若者を育成できる学校・・・

めざす学校に近づけるために、育みたい生徒の力・望む教職員の力

【生徒に育みたい力】

- 学び続ける力
- 人と繋がる力

【教職員に望む力】

- 生徒に関心をもつ力

2 中期的目標

1 学び続ける力の育成

☆3年後の国公立大学への現役合格80名（8クラス規模で）

- (1)八尾高スタンダードの策定・展開
- (2)教科としてのスタンダードの策定・展開
- (3)1年次「1学期」でのボトムアップ
- (4)自学自習・家庭学習の充実
- (5)アドバンス教育コースの充実
- (6)新学習指導要領に対応した教育課程の充実
- (7)本校教員による講習・予備校講師による講習

2 人と繋がる力の育成

- (1)授業を大切にする、授業の緊張感を大切にするからこそその遅刻防止
- (2)勉学に軸足を置いた学校行事の活性化
- (3)勉学に軸足を置いた部活動の活性化
- (4)人権教育スタンダードの策定・展開
- (5)生徒指導スタンダードの見直し・実践

3 生徒に関心をもち続ける教育活動

- (1)わかる授業・できる授業・魅力ある授業（生徒に日々の成功体験と背伸びする勇気を）
- (2)教育相談活動の充実
- (3)研修の充実

4 地域と共に歩む学校

- (1)大阪教育大学における聴講制度の継続
- (2)地域の中学校・小学校等との連携の充実

5 同窓会・PTAとの連携

- (1)平成27年度開催の創立120周年に向けての連携強化

【学校教育自己診断の結果と分析・学校協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [平成26年12月実施分]	学校協議会からの意見
<p>【生徒アンケート】</p> <p>・高校生活全体の満足度は85%を超えている。また、学校行事における満足度は90%、部活動における満足度は93%である。しかし、部活動と勉強との両立については、62%にとどまっている。</p> <p>・今年度の1年生（69期生）から年次進行で朝のSHRを始めた。落ち着いた雰囲気ですぐに授業に入ることができ、「集中して授業を受けることができていく」の数値が1年次生の過去3年間（67期生～69期生）の平均72.7%を上回り、75.0%となった。</p> <p>【保護者アンケート】</p> <p>①結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度と比較して全質問項目36のうち20項目においてポイントを伸ばした。特に「八尾高校へ進学させて良かった」「子どもは学校へ行くことを楽しみにしている」の項目はもとより、『「学校生活・部活動・行事」に係る5項目中4項目」と、「大阪教育大学との連携」の項目において90%を超える高評価を得ることができた。 ・今回のアンケートでポイントを伸ばした項目は「家庭への連絡や意思疎通を適切に行っている」で77%から82%へアップした。また「命を大切にすることや社会ルールを守る態度の育成」「人権を尊重する意識の育成」の項目も、それぞれ84%から88%、82%から86%と4%アップした。 ・肯定的回答が70%を下回った項目は、「子どもは、興味を引く、わかりやすい授業が多いと言っている」「子どもは、家庭学習に積極的に取り組んでいる」の2つである。 <p>②分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度1年生から取り組みを始めた、朝のSHRを利用した朝読や朝学、宿泊研修など新入生のスタートに係る取り組みは成果を上げることができた。しかし1年の夏休み以降～2年にかけて家庭学習時間が全国平均より短い現状があり、今後勉学に軸足を置けるよう、部活動の見直しやスケジュール管理能力の向上などにより物理的時間枠を広げ、宿題等の現状分析による効果的な家庭での学習時間延長の 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 実施 第1回（5月12日）、第2回（10月27日）、第3回（2月12日） 2. 大阪教育大学教授、八尾市立成法中学校長、八尾市立八尾小学校長、児玉塾塾長、同窓会副会長、PTA会長 3. 第1回内容 「平成26年度の学校経営計画について」 <p>①文武両道について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・八尾高校の歴史の中で、勉強も部活や行事も、一生懸命に取り組んでいくというスタンスは大切にしてほしい。 ・勉強と部活が両立していない生徒が多くあることは確かである。また他校と比較しても一番活動時間が長いようだ。一定、練習等に時間の制限を設ける必要性が感じられる。 ・練習が終了したあとの切り替えなどを、生活面の見直しをしっかりと指導する必要がある。 <p>②新一年生（69期生）の取り組みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年の1学期が大きな勝負である。その意味で多くの取り組みに期待している。 ・朝のショートホームルームの導入は、勉強への切り替え、遅刻等の基本的な生活習慣のためにも良い取り組みである。 <ol style="list-style-type: none"> 4. 第2回内容 「今年度の取り組みの進捗について」 <p>①海外スタディーツアー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モチベーションとして、このツアーが良いきっかけになっているようだ。 ・報告会などの発表の場をつくり、行けなかった生徒や全校に返すことで輪を大きくすることも大事である。 <p>②講習の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講習受講者の追跡調査が必要である。 ・小論文対策は、国語科や講習だけでなく、生徒が分析や討論する機会を用

<p>取組みが必要である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業改善の取組みは 90%を超える先生方が改善したと考えている（【教職員アンケート】より）が、まだ生徒との感覚のギャップがある。これを埋めれるよう、より双方向の授業展開ができるよう改善を図る必要がある。 <p>【教職員アンケート】</p> <p>①結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「基礎学力、社会生活を営む上で必要な能力を身につけさせている」「2 学期制、三年後期の選択授業のシステム」「問題行動への組織的対応」「生徒の実態に合わせた生活指導」「校長のリーダーシップ」などの項目で昨年度より 10%以上の肯定意見のポイントを伸ばすことができた。 ・「授業、部活動、行事などの適正なバランス」「生徒会行事の組織的運営」「分掌、委員会などの連携と有機性」「教員の協力体制」などの項目は肯定回答が 40%を下回っている。 <p>②分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くの取組みを個人や係りで請け負っているため全体に共有されていない、学年や委員会といった小さい単位、また単年度の取組みにならないよう、分掌がイニシアティブを取れるようにする必要がある。 ・職員会議の位置づけや、内規の変更等で一部混乱はあるが、スタンダードの策定等で教員の協力体制は統合されつつある。 	<p>意するとともに、他教科の協力も必要である。</p> <p>③69 期生、朝のショートホームルーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・八尾市立 29 小学校全てで朝読に取り組んでいるので、違和感なく導入できているのではないか。 ・八尾市在住の生徒については、市立図書館を利用した朝読用の本の調達を考えてどうか。 <p>5. 第 3 回内容</p> <p>①スマホ等とのつき合い方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育産業でスマホを利用した学習をしているところがある中、八尾高校でも SNS を中心として使用時間が長い生徒がいる。 ・今年度は、ノースマホウィークという新たな取り組みを行った。 ・ラインなどの各コミュニティで使用しない時間帯を考えさせるなど学校でのムードづくりが必要である。 <p>②家庭学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学でも新入生セミナーを行っているほど、ノートを取れない学生、思考をしない学生が増えている。 ・新 1 年の 1 学期中に宿題だけでなく予習復習の習慣をつけたい。 ・入学後、学習活動は厳しいが、「しっかりと勉強させてくれる学校」というアピールを打ち出してもよいのではないか。 <p>③ICT の授業活用について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わかりやすさはあるが、学習の定着など実力をつけることは別ではないか。
--	--

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
学び続ける力の育成	(1)八尾高スタンダードの策定・展開 (2) 教科としてのスタンダードの策定・展開 (3)1 年次「1 学期」のボトムアップ (4)自学自習・家庭学習の充実 (5)アドバンス教育コースの充実 (6)新学習指導要領に対応した教育課程の充実 (7)本校教員による講習・予備校講師による講習の充実	(1)平成 26 年度の新入生より年次進行により策定する (2)平成 26 年度の新入生より年次進行により策定する (3)国公立合格に対応できる基礎学力を養成する (4)①1 年次 4 月に宿泊研修を実施する ②1, 2 年次 12 月下旬に勉強合宿を実施する ③日常的に教科から要求する (5)コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力の育成を重視した取組みを継続する (6)教育課程を充実させる (7)①本校教員による講習を実施する ②予備校講師による講習を実施する	(1)スタンダードの提示 (2)スタンダードの提示 (3)・1 年次生の授業の緊張感を維持できたか ・次年度以降の評価指標：12 月実施の学校教育自己診断において、2・3 年次生の「国公立希望」者数が適正であるか (4)①満足度（アンケート肯定的回答 85%） ②満足度（アンケート肯定的回答 85%） ③学校教育自己診断「家庭学習」肯定率（1 年次生 H25:41%→H26:60%） ④学校教育自己診断「携帯・スマホ」（1 年次生の使用時間の減少） (5)満足度（アンケート肯定的回答 95%） (6)3 年次の選択科目の充実の有無等 (7)①・年間通しての講習の有無 ・学校教育自己診断「授業以外の学習支援」肯定率 85% ②・全学年での実施の有無 ・満足度（アンケート肯定的回答 95%）	(1)概ね策定 (○) (2)策定済。年度末までに提示。 (○) (3)・遅刻数（1 年次生）：前年度の 60% 減 ・学校教育自己診断「態度良く集中して授業を受けた」：肯定率 75%（昨年度より 5.0 ポイントアップ） (◎) (4)①満足度：肯定率 90% ②合宿形式をとらずに 2 日間の学習→満足度：肯定率 95% ③「家庭学習」肯定率 45% ④「携帯・スマホ」：1 時間未満 29.3%（昨年度 26.8%） (○) (5)2 月に実施 (○) (6)センター対策（漢文）を新設 (○) (7)①・年間通しての講習を実施 ・「授業以外の学習支援」肯定率 82.3% ②・全学年で実施 ・肯定的回答 97% (○)
人と繋がる力の育成	(1)授業を大切にす、授業の緊張感を大切にするからこそ遅刻防止 (2)勉学に軸足を置いた学校行事の活性化 (3)勉学に軸足を置いた部活動の活性化 (4)人権教育スタンダードの策定・展開 (5)生徒指導スタンダードの見直し・実践	(1)昨年度 5 月から強化した遅刻防止指導を継続する (2)勉学に軸足を置いた学校行事を計画し取り組む (3)勉学に軸足を置いた部活動を計画し取り組む (4)平成 26 年度の新入生より年次進行により策定する (5)生徒への要求項目等の見直しをする	(1)遅刻数の減少（平成 25 年度の 20%減） (2)・八尾高スタンダードへの位置づけ ・行事準備期間中の下校時間等、約束事の順守 (3)・八尾高スタンダードへの位置づけ ・日々下校時間等、約束事の順守 (4)スタンダードの提示 (5)スタンダードの提示	(1)4 月～12 月：前年度の 32.4%減 (◎) (2)・概ね策定 (○) ・順守できた (○) (3)・概ね策定 (○) ・ほぼ順守できた (○) (4) 概ね策定 (○) (5) 概ね策定 (○)
生徒に関心をもち続ける教育活動	(1)わかる授業・できる授業・魅力ある授業（生徒に日々の成功体験と背伸びする勇気を） (2)教育相談活動の充実 (3)研修の充実	(1)一人ひとりの生徒に関心をもちた授業を実践する (2)高校生活支援カードから教育相談への流れをつくる (3)・人権研修を実施する ・学校外の研修を伝達する	(1)授業アンケート「授業に対する生徒の意識」項目のポイント（3.0 点/4 点満点） (2)・支援を必要とする生徒の情報共有 ・教育相談への流れの有無 (3)実施の有無	(1)「授業に対する生徒の意識」項目のポイント（3.06 点/4 点満点） (○) (2)・情報共有できた ・教育相談への流れ：有 (○) (3)・職員人権研修、①7/8「セクハラとパワハラ」、②12/10「若者の自立支援のために（生活保護制度と貧困の現状）」を実施。 ・1/22 生徒向けの「車いすバスケット講演会」事前研修内容の伝達講習実施。 (○)

府立八尾高等学校

地域と共に歩む学校	(1)大阪教育大学における聴講制度の継続 (2)地域の中学校・小学校等との連携の充実	(1)大学の事情により、対象講座数が減少するが、引き続き充実した取組みを継続する (2)・八尾市立成法中学校区の「チャレンジキッズ」に参画する ・地域の小学校、幼稚園との連携を継続する	(1)・希望生徒の聴講実現 ・満足度（アンケート肯定的回答 95%） (2)実施の有無	(1)・希望生徒の聴講を実現できた ・「講義内容についてとても興味を持てた」肯定的回答 100% ・「聴講制度に意義がある」肯定的回答 97% (○) (2)・6/21、28 チャレンジキッズ（延べ 189 名の児童が参加）で連携 ・11/7 安中小学校 1 年生、11/25 安中幼稚園と「どんぐり拾い」の交流 ・12/2 八尾小学校 1～4 年の児童、ニコニコマラソン大会のボランティア参加。(○)
との連携 P T A 同窓会・	(1)平成 27 年度開催の創立 120 周年に向けての連携強化	(1)周年行事の前年度としての活動を滞りなく実践する	(1)実施の有無	(1)・講演、生徒企画がほぼ決定。記念誌はページ建てが決定し資料の収集中。(○)